

図書館通信

静岡大学附属図書館報

No. 143



2003.4

- 個性を磨くために図書館の活用を(附属図書館長 番場公雄)
- 批判的読書のすすめ(情報学部 鎌田哲宏)
- シリーズ“!”第11回
- シリーズ“すばらしい本の世界”
- 平成15年度「附属図書館利用セミナー」実施のお知らせ
- 図書館からのお知らせ
- 図書館の動き
- 開館カレンダー

個性を磨くために 図書館の活用を



附属図書館長 番場 公雄

長く続いた日本の学歴社会や年功序列制度も最近では崩壊しつつあり、国立大学の学生といえども卒業見込み証明書があれば企業から内定もらえる時代ではなくなった。静岡大学の学生について、大変まじめで優秀であるが、おとなしすぎるという評価をよく耳にする。見方を変えれば個性がないということにもなる。最近、社会が求めているのは個性的な人材である。これは静岡大学自体にも当てはまることでもあり、これからの大学改革における大きな課題の一つである。

人の性格形成には遺伝的要因と、主に乳幼児期の環境要因が大きな影響力を及ぼすとされており、古くから「三つ子の魂百まで」と言われる。幼児の性格は一生変わらないと言う意味である

が、すでに3歳までに人の性格は形成されていると解釈した方が正しい。まして大学生の年齢ともなれば、基本的な性格を変えることは極めて難しい。それぞれの性格を基本骨格と位置づけ、オーダーメイドで個性を磨き上げて欲しい。

大学入学前までは、学修方法もかなりマニュアル化されており、真面目に努力を積み重ねれば、進学という目標も達成された。しかし、大学生ともなれば、人生の長期目標を設定し、それを達成するために必要な学修内容を自己の責任で決めていかなければならない。大学入学により当面の目標を失った学生はまず学修科目のオプション(選択科目)選びに戸惑う。それぞれの個性や目的に違いがあるので、他人と同じ科目を選ぶことは適切ではない。ましてや楽勝

科目を選ぶのは論外である。しかし、大学で提供されるオプションはかなり限定されているため、不足する分野は自分で学ぶ必要がある。ダブルスクールという方法もあるが経済的な負担にもなるので、まず基本的には図書館の書籍を活用した学修がお勧めである。しかし、受験生活で読書に縁遠かった人は、最初から難しい本を選ぶのではなく、先輩や先生方の推薦する本や、名前を知っている本学の先生方が書いた本など、親しみやすいものから読み始めるのが無難である。なお、教官著作寄贈図書一覧は、図書館通信第141号に掲載されている。

大学で開講している授業科目は大きく教養科目と専門科目に分けられるが、学生諸君の一部から教養教育に対して否定的な意見も聞かれる。しかし、教養は輝く個性作りには不可欠な要素であり、また、社会生活をする中で、専門や文化の異なる人々の共通の話題となり、人と人との交流をスムーズにする接着剤的な役割を果たすなど、その重要性はきわめて高いことを理解してほしい。大学における教養教育ではその学

び方や基礎を身につける程度であり、生涯を通じて学ぶべきものであることは言うまでもない。

大学では1単位を修得するために必要な学修時間は45時間とされている。しかし、実際行われる講義科目での授業時間は必要とされる学修時間の3分の1に過ぎない。1日の活動に必要な栄養を3食で補うことに例えれば、大学の授業では1食分のみ提供されていることになり、他の2食分に相当する知識は自らが努力して学ぶ必要がある。1日1食では栄養失調に陥り、健康を害することは明らかである。1日1食に相当する学習では知的失調状態に陥るのは確実であるが、自覚症状は就職活動に入って初めて表れるところにこの病のおそろしさがある。1日の受講科目数から計算すると1科目3時間の予習復習は無理なところもあるが、せめてその半分の時間を図書館や家庭での学修にあててほしい。それは大学生の学修におけるグローバルスタンダードである。

(農学部 生物機能化学)

お知らせ

浜松分館は平日10時まで開館します

浜松分館は、これまで平日午後9時までの開館でしたが、平成15年4月から1時間延長し、静岡本館と同じ平日10時までの開館になります。

どうぞご利用ください。

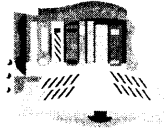
開館時間

月～金 9:00～22:00 (休業期は17:00まで)

土・日・祝日 9:00～19:00



批判的読書のすすめ



鎌田 哲 宏

第二次世界大戦の戦火を免れたスウェーデンには中世の美しい建物がいくつも残っていて、訪れる者を幻想的な夢の世界へ誘ってくれる。ヨーロッパのなかでも有数の名門大学に数えられる北部のウプサラ大学と南部にあるルンド大学も、いかにも歴史と伝統を感じさせる荘厳なたたずまいで見る者を圧倒してくる。

ところが、1990年に私がスウェーデン社会研究所の客員研究員として在籍したストックホルム大学は、「首都にも大学を」という方針で戦後に開設された新しい総合大学なので、校舎も教室も研究室も食堂もすべてバラックのような、何の装飾もない、味気ない雰囲気、はじめは内心少々失望した。

しかし、外観は何の変哲もない二階建ての図書館に一步入って仰天した。奥行きがどれくらいあるかわからないほどの広いスペースに、雲形などのさまざまな形をした大きなテーブルが延々と置かれていて、学生たちは思い思いのスタイルで席を占領し、分厚い本やノートを開いていた。どん詰まりのコーナーに外国語の新聞や雑誌が置いてあったので、時々朝日新聞を読みに行ったが、テーブルの間を通り抜け、目的のコーナーを目指して歩いているのに方向がわからなくなることもしばしばあった。それほど広いのである。二階が全部書庫で、すべての蔵書はコンピュータで検索できるようになっていた。つまり図書館は大学の心臓であり、他の施設がどんなに貧弱でも、図書館だけは立派でな

ければならないという思想を思い知ることができた。

ところで、この図書館はいつも満席で、夏休みに入るまでついに空席を見ることはなかったが、これらのテーブルには、日本の多くの図書館で見られるような、隣や前の席を隔てる囲いがないのである。それでも学生たちは周囲を全く気にすることなく、各自の読書に没頭していた。すばらしい集中力である。日本では何故囲いが必要なのだろう。

一つの提案をしたい。それは批判的に本を読むことである。大学入学までの教科書や参考書の内容はすべて正しく、しゃにむに理解し暗記しなければならなかった。しかし、これから読む本はすべて「常識や通説、独断と偏見」などにとらわれているのではないかと疑いながら読んでみよう。新しい興味が生まれて来るであろう。これまでの歴史学会の定説をすべて覆して自説を展開している井沢元彦『逆説の日本史』は、その意味で一読の価値がある。

3月末で浜松分館長を退任した。学長はじめ多くの教職員の方々、とくに分館職員の献身的な努力で、4年一貫体制に対応できる、「本館並の分館」にかなり近づくことができたと思う。心から感謝申し上げたい。

(情報学部情報社会学科)

【紹介された本】

『逆説の日本史』

(静岡本館・浜松分館共に3月末現在発注中)

シリーズ“！”第11回

図書館で利用できる新聞（その2）

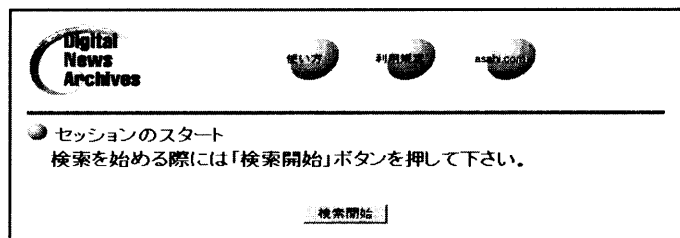
DNA（Digital News Archives）：朝日新聞全文記事データベースの簡単な使い方をご紹介します。

本館・分館とも館内の専用パソコンでのみ利用可能です。

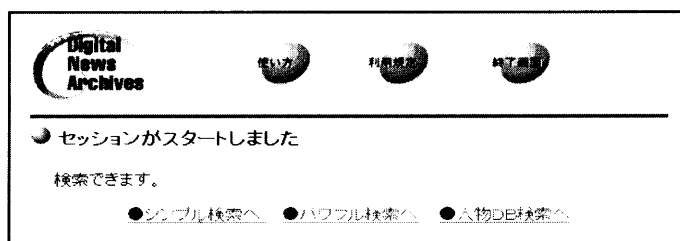
① [スタート画面] をクリックします。



② [検索開始] をクリックします。



③ シンプル検索とパワフル検索が選べますが、[シンプル検索] で十分です。



④ キーワード（3つまで可）を入力します。AND検索の他にOR検索、NOT検索も可能です。

⑤ 必要があれば発行日を指定します。指定しない場合は全期間が対象となります。

⑥ [検索実行] をクリックします

シンプル検索

朝日新聞・AEFA・週刊朝日 記事検索

「検索語」の入力ボックスに調べたい語句を入れて、検索実行をクリックしてください。(ヘルプ: [シンプル検索](#))

■ 検索語

☒ 見出しと本文 ☐ 見出し ☐ 本文

■ 発行日

年 月 日 から 年 月 日

「* 月 * 日から * 月 * 日まで」「* 月 * 日のみ」「* 月 * 日まで」「* 月 * 日から」の4通りの期間指定が可能です。空白の場合は、すべての期間を対象にします。

⑦条件に合致した記事の一覧とヒット件数が表示されます

⑧読みたい記事を
クリックします

見出し一覧
グリーンで表示された記事は著作権などの関係で本文を表示できません。

☒ 見出しと本文
 ☐ 見出し
 ☐ 本文

小学校 IT教育

年 月 日 から 年 月 日

総件数:20件 通し番号:1~20

NO	発行日	ソース	面名	ページ	文字数
00001	2002年09月14日	朝刊	高知1	024	00188文字
市町村だより / 高知					
00002	2002年09月11日	朝刊	岡山1	026	00692文字
牛通し小学生と交流 ネット新聞で配信 高松農高 / 岡山					
00003	2002年03月28日	朝刊	東京2	026	01384文字
みたか@こども IT教育(電子自治体 光と影:2) / 東京					
00004	2002年07月29日	朝刊	スポーツ1	017	04642文字
第84回全国高校野球選手権地方大会・28日					
00005	2002年06月15日	朝刊	栃木1	031	00699文字
国分寺町、IT教育に力 パソコンを小中校へ配備増やす / 栃木					

⑨全文が表示されます。ただし、写真・図表は表示されません。

* 一覧画面でグリーンの表示された記事は著作権の関係で全文の表示はできません（見出しのみ）。

本文表示 検索語の位置

☒ 見出しと本文
 ☐ 見出し
 ☐ 本文

小学校 IT教育

年 月 日 から 年 月 日

総件数:20件 通し番号:5

発行日 = 2002年06月15日 ソース = 朝刊
 面 名 = 栃木1 ページ = 031
 発行社 = 東京 文字数 = 699

国分寺町、IT教育に力 パソコンを小中校へ配備増やす / 栃木

国分寺町がIT(情報技術)教育に本腰を入れている。小中学校のパソコンを大幅に増やし、すべての先生にノートパソコンを貸与。町教委は「遠隔地と結んだテレビ授業」と意気込む。しかし、慣れないIT機器を相手に先生たちは四苦八苦。本格的に授業に生かされるには、まだ時間がかかりそうだ。

町は今春、町内の3小学校に配備されているパソコンを倍増し、生徒が1人1台を使って授業ができるようにした。また3小学校と1中学校のすべての先生にノートパソコン(計107台)を無料で貸与。電子メールでの教員間や学校と教委との連絡を推奨し、各校に1人、情報アドバイザーを置いた。

昨年12月には、4校にテレビ会議システムを導入。3校が昨年度、国の未来型教育研究校に指定されたのがきっかけだ。学校間を光ファイバーでつなぎ、遠隔地を結んだテレビ授業もできる。

DNAの特徴

- ・ 1984年8月から本日の朝刊分まで、全文を検索・閲覧できます
- ・ 雑誌「AERA」「週刊朝日」も収録対象となっていますので、これらの記事も同時に検索できます。
- ・ 各都道府県の地方版もカバーしています。(沖縄を除く)

ご活用ください！



お薦め文庫本ベスト 5



電子工学研究所 喜多尾道火児

学生時代にはどんな本でもいい、まずは読むことだ。本は買わずに図書館で借りて読むのが安上がりだが、たまには買って蔵書するのも気持ち豊かにさせてくれる。買うとすれば、安い方がいい。文庫本は読むのに手軽だし、価格も手頃という訳で、独断と偏見で文庫本のお薦めベスト5を披露したい。ではカウント・ダウンといきましょう。

5. A. トフラー『第三の波』(中公文庫)

この本は20世紀に生まれ21世紀を生きる人、特にケータイを手放せない人には必読書である。現在のIT時代は第3の波をもろにかぶっているのだから。

ここでトフラーは第3の波のあとでは人間疎外が解消されるとバラ色の夢を見た。だが世の中を見渡すと、ケータイやインターネットに振り回されている人間たちしかない。ますます疎外が強くなり、トフラーの予測は外れたようだ。しかしこの本の人間と時間性との関係についての鋭い分析は今でも色あせていない。第1の波(農業革命)、第2の波(工業革命)で順に人間は時間に束縛され、時間を切り売りされるはめになってきた。そして第3の波(情報革命)のもとでは時間からの解放があるはずであった。いつもケータイを見ている、使わずにはいられないという現実結局個人を時間により強く縛りつけていることになりはしないか。文明が進歩するとはそういうことなのかもしれない。人間にとってのこうした同時代性について考えるのに適した本がこの『第三の波』であ

る。

4. R. シルヴァバーク『地上から消えた動物』 (ハヤカワNF文庫)

人間がちっぽけと感ずるのは、宇宙についての本を読んだ時などに特に強い。もう少し身近な『地球の歴史』(岩波新書など)を読んでも、地球をおおいつくした苔の話や生物の大絶滅など気宇壮大な出来事を知ることが出来る。こうした遥かなる大昔のことではなくても、ついこの間までアラビアオリックス、アメリカのリョコウバトやマスカリン諸島のドードー鳥などが種として生命を謳歌していたことを知っているだろうか。この本には、今はなき動物たちのノスタルジックなロマンが地球にはあったとの事実が述べられている。そしてこれらの動物たちは人間のエゴイスティックな暴虐によって絶滅させられてしまったのだ。

生物間では、淘汰という考え方の“競争進化”ではなく、“共生進化”のケースの方が多いらしい(稲本正『森の惑星』)。人間は競争原理により多くの生物を(鉱物も)破壊・絶滅させ、結局地球の破滅を招いているとしか考えられない。地球とか人間周辺とか、いわゆる環境問題を考えるに際し、人間の行ってきたことを見つめ直すのによい本である。

3. 町田・浅野編『わらべうた』(岩波文庫)

今の若い人たちは耳元で音楽が流れていないと生きていけないらしい。最近では歌も難しくなり、何を歌っているか意味不明の歌詞の曲が多い。単純な歌詞・メロディーの曲のほうがよ

り深く感動を受けはしないだろうか。(化石人間のひがみ?)

昔の日本の歌には5音音階のものが多いといわれている。そして5音音階からオンを2つ抜くことを恐れずに言うならば、日本人ならばまだ尾てい骨ぐらいには“わらべうた”に郷愁を感じずはである。小学唱歌や演歌よりもずっと長い間、“わらべうた”は日本人の心の記憶に刷り込まれているはずだから。手毬唄「あんたがた何処さ」の軽快なテンポ、関所遊び唄「通りゃんせ」の怖さ、子守唄「坊やはよい子だ」の美しさ、遊戯唄「なかなかホイ」の簡明さ、気象唄「豆狸」のユーモアなど一度口ずさむと少なくとも尾てい骨をくすぐられるだろう。

この本には歌詞と譜面が約160曲も載っている。断然オトクな文庫本だ。

2. 武田泰淳『目まいのする散歩』(中公文庫)

「司馬遷は生き恥さらした男である」という書き出しで、処女評論『史記の世界』をものにした武田泰淳は、その後多くの小説を著した。生きる・恥は無論のこと、愛・孤独・苦悩・喜び・絶望・滅亡・予見・挫折・真実・宗教・政治・革命・権威・アナーキー・極限状況などなどあらゆる人間的情念や社会的問題に挑戦した。彼の小説の重層構造、即ち1枚1枚めくる度に別の顔・異なる面が現れてくる多角的視野・複相さがもっとも好きなのところだ。そしていつも魅力的な書き出しで始まるのだが、多くの問題に頭を巡らせすぎ、混沌の中で五里霧中となってしまう、ついには尻切れトンボな小説になってしまっていた。

しかし60歳直前での脳血栓後のリハビリをかねた散歩の記録(小説)がこの『目まいのする散歩』である。それまで混沌の中で右往左往して苦しんだり悩んだりしたものがスッキリとした形で表れ、何事にも囚われず、あるがままを受け入れている境地がここにある。若い時には希望と前進という苦難の道を邁進しなければならないが、その努力の後にはこんな世界が待ち受けているかもしれないと、この本を読んで

ちょっと垣間見るのもいい。

1. 鯨統一郎『邪馬台国はどこですか?』

(創元推理文庫)

邪馬台国って何ですか? 勿論、女王卑弥呼が統治した元祖ニッポン国である。邪馬台国の所在地については古代史の謎であり、大和・出雲・日向あげくのはては琉球までと諸説紛々である。

探偵小説(ミステリ)大好き人間の僕としてはベスト1に探偵小説を選んでみたい。この本は歴史ミステリもので、歴史における6つの謎の解明を試みた短編集である。その中で、表題作の短編が秀逸だ。邪馬台国の場所についての意外な結論・合理的解釈には誰もがアッと驚かされる。そしてユーモア(駄洒落?)もある。

“第3の波”のパソコン時代では論理よりもパターン認識が貴ばれるかもしれない。しかしまだ21世紀に入ったばかりなので、学生諸君は卒論・修論を書くに当たって、論理・推論に基づいた新発見・独創性・分析力・仮説の証明などが要求される。論理という大げさなものではなくても良い。理屈・当て推量でもいいし、ヘリクツだっていい。この短編の客観的推論の妙(テクニク)を座右の銘として、レポート・卒論などに磨きをかけて欲しい。

【紹介された本】(静=静岡本館/浜=浜松分館)

『第三の波』 浜/文庫新書 [304/TO19]

(日本放送出版協会) 静/閉架 [304/TO19]

『地上から消えた動物』 静/開架文庫[482/SI4/B]

浜/開架 [482/SI4]

『わらべうた』 静/閉架文庫 [080/I95BT/B]

『目まいのする散歩』

静/開架文庫 [914.6/TA59/B]

『邪馬台国はどこですか?』 静/開架文庫 [913.6/KU25/B]

浜/開架 [913.6/KU25]

『地球の歴史』 静/開架新書 [456/I29/S]

浜/文庫新書 [081/3/887]

『森の惑星』 静/開架 [650.4/I53]

『史記の世界』 静/閉架 [289.2/SH15T]

浜/開架 [222.03/SH15T]



私が出会ったミラクルな本

人文学部社会学科 上利 博規

思い返せば、自分の人生に決定的な影響を与えた本との出会いは、偶然やタイミング以外の何物でもなかったようにも思います。「この本はすばらしいから強く推薦する」と言うことは難しく、ここでは私が出会った本の中で、私にとっては目からウロコだった本や、本を読むことは幸せなことだと感じさせてくれた本などについて、いくつか紹介したいと思います。

まず、『君たちはどう生きるか』(吉野源三郎著、岩波文庫)です。今でも哲学の授業でその一部分引用していますが(教養教育委員会発行予定『哲学思想の手引き』参照)、この本を読み終わると「真面目に生きることは大切だ」、「一生懸命生きよう」という気持ちにさせてくれます。

これまでの自分を支えてくれたものは音楽と本であったと私自身は思っているのですが、特に中学一年の時に読んだ『新約聖書』は決定的だったように思います。『新約聖書』の第一ページには系譜が延々と書いてあっていやになるので、短い「マルコによる福音書」が読みやすいと思います。聖書というとすぐ宗教だと思うでしょうが、日常生活では聞くことのできないような言葉の深さを感じることができ一種の文学のように考えてみるのがいいと思います。まさに「人はパンのみで生きるのではなく、(神の)言葉によって生きる」ということを実感させてくれます。

静大に赴任する少し前に『子どもの宇宙』(河合隼雄著、岩波新書)を手にし、『統一年一組せんせいあのね』という本からの次のような

引用を読んで驚きました。「えらい人より やさしい人のほうがえらい やさしい人より 金のない人のほうがえらい なぜか」というと 金のない人は よくさみしいなかで よくいきているからだ」。このほかにも、この本の「子どもと動物」という章で紹介されていた、飼っていた亀が逃げ出したことがきっかけで無口の子がしゃべり出したという話に興味をもち、動物と人間との言葉や意識ではない部分での触れ合いについて考え始め、人間と自然の関係やケアの問題に関心を抱くようになり、動物を飼うようになりました。

以上は、学生のみなさんにも勧められる本です。ここからは専門的な話になって恐縮ですが、今の自分がどのようなことに本を読む楽しみを見ているかについて書きます。まず、『テキストの快楽』(ロラン・バルト著、みすず書房)。この本は、学ぶために本を読むのではなく、喫茶店で会話がはずむような楽しさが本を読むことにはあることを教え、本に接する態度を大きく変えてくれた本です。『千のプラトール』(ドゥルーズ&ガタリ著、河出書房新社)も自分が宇宙に向かって開かれるような気にさせてくれるので、好きな本の一つです。この本は、誰にでもわかるように一から順番に説明して結論に至るというスタイルを取っておらず、斬新なアイデアがつまった項目が密集してできているジャングルといった感じです。そして、頭で理解するのではなく、音楽を聴くように、繰り返し繰り返し味わっていると、新しいメロディが聞こ

えてくるような気がしてきます。ちなみに、「プラトー」とは高原であり「盛り上がり」です。最後に、「哲学の根本問題は非知に接することによって得られる笑いだ」と考えるバタイユの『太陽肛門』(バタイユ著作集1『眼球譚』所収、二見書房)をあげます。表題からして驚きですが、この本も宇宙論的な視野をもち、同時に「穢れ」を排除せず、笑いの中で引き受けようとする、とても気持ちが大きくなる本です。というわけで、今の私にとって、読書とは新しいアイデアを与えてくれる秘密の玉手箱のようなものといえるでしょうか。

【紹介された本】(静=静岡本館/浜=浜松分館)

『君たちはどう生きるか』

静/開架文庫 [080/I95BB/B158(1)]

浜/開架 [159.5/Y92]

『新約聖書』 静/開架 [193.5/SE19]

『子どもの宇宙』 静/開架新書 [371.45/KA93/S]

浜/文庫新書 [081/I95SC/386]

『一年一組せんせいあのね 続』

(静岡本館・浜松分館共に3月末現在発注中)

『テキストの快楽』 静・浜/開架 [954/B25]

『千のプラトー』

静/閉架・浜/開架 [135.5/D55]

『太陽肛門』 静・浜/開架 [958/B27/1]

平成15年度

『附属図書館利用セミナー』実施のお知らせ

4月より新入生を対象に附属図書館利用セミナーを実施します。

新入生の必須科目である新入生セミナーのひとつコマを利用して、図書館の基本的な利用方法を習得してもらいます。これをきっかけに図書館へ気軽に足を運んでいただき、今後の学習・研究のために存分に活用していただきたいと思います。

なお附属図書館利用セミナーを受講できなかった新入生及び学部編入生については別途にライブラリー・オリエンテーションの開催を予定しています。詳細は図書館ホームページと掲示板にてご案内する予定です。

静岡本館

期 間：平成15年4月中旬～7月上旬

(セミナー実施日は新入生セミナーの
担当教官ごとに決まっています。)

場 所：図書館5階第2閲覧室

(ハーベストルーム)

内 容：1. 図書館の利用法

2. パソコンによる検索実習

3. 書庫内案内

* セミナー期間中はハーベストルームの利用が
制限されます。

浜松分館



期 間：平成15年4月中旬～7月上旬

(セミナー実施日は新入生セミナーの
担当教官ごとに決まっています。)

場 所：図書館2階視聴覚室

(SCSメディアルーム)

内 容：1. 図書館の利用法

2. パソコンによる検索実習

3. 館内ツアー

図書館からのお知らせ

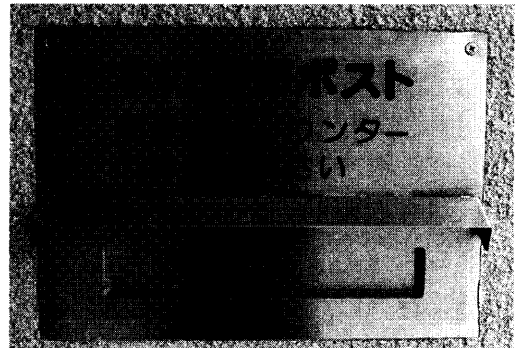
● 正面玄関が生まれ変わりました！ 《静岡本館》



1月中旬より工事の始まった正面玄関が完成しました。

以前より横幅が約2倍となり、明るく、現代的な雰囲気を持つ正面玄関となりました。

玄関の脇には、返却ポストが新設されました。
図書館が閉まっているときは、こちらへ返却してください。(但し、図書のみ)



完成セレモニーの様子



玄関の銘板には“Tolle lege”の標語が掲げられています。



この標語についての解説：

“Tolle lege.”というラテン語は、もとは古代末期西欧の思想家アウグスティヌス (354-430) の『告白』(VIII,12,29)に見えるもので、彼は人生の苦悩に沈んでいた青年時代のある日、偶然耳にした子供たちの「トッレ・レゲ」という歌声に「取って読め」という天啓を聞いて聖書を開き、奇しくもちょうどそのページから新しい生き方への決め手をつかんだということです。この次第は、わが国の法然 (1133-1212) がこれも自らの生きる道に悩んでいた頃のある日、善導が著した『観経疏』を誰に言われるでなく開いたところ、まさしくにそこに回心への決定的な手がかりを発見したというエピソードと共通するものがあります。この標語は古代末以来とくに西欧ではさまざまな機会に思い起こされるものとなりました。例えば20世紀では、記号学者にして作家でもあるU・エーコがわが国でも多数の読者を得ている小説『薔薇の名前』(1980)の印象的な終幕で、この言葉を主人公に向けられた天の声として典拠を示さずに引用しています。

こうした歴史を降り帰ってみると、あらためて書物というものは図書館にあるというだけでは自ら語り出すことはないということがわかります。私たちが自ら「手に取り」そして「読む」という積極的な行為をもって働きかけたときに初めて、書物はわれわれに新しい大きな世界を開いてくれるでしょう。これは私たち図書館で働く者がいま学生をはじめとする利用者の皆さんに伝えたいメッセージでもあります。

* * * * *

なお、このラテン語文については現在各国で幾通りの表記法が行われています。その主なものをあげれば、①Tolle lege. ②Tolle, lege. ③Tolle et lege.の三通りに分けることができるでしょう。「取って読め」という意味の文章としては、②ないし③が文法的にはより正確であるように思われます(事実エーコの小説では③が採用されています)が、本図書館の標語としてはアウグスティヌスの原典の表記法を採用しました。アウグスティヌスにはこどもたちの歌声ないし遊びの掛け声がそのように聞こえたということですが、それは実際にはこのような意味の文章ではなかったのかもしれないのです。①の表記にはこの謎めいたニュアンスが残っていると思われます。しかし、ある言葉をわれわれが特定の意味をもったものとして受けとるということも、その性質上、書物を読むという人間の行為と通ずるところがあるようにも思われます。この表記法にもそれなりの真実と存在意義があるように思われるのです。

(前附属図書館長 大江泰一郎)

【参考文献】 (静＝静岡本館／浜＝浜松分館)

『告白』アウグスティヌス著

(世界古典文学全集所収) 静/開架・閉架 [908/SE22/26]

(世界の名著) 浜/開架 [080/SE22/114]

『薔薇の名前』ウンベルト・エーコ著；河島英昭訳

静/開架 [973/E19/1-2]

図書館の動き

◆会議

平成14年度第4回静岡大学附属図書館委員会

平成14年12月17日(火)

○審議事項

1. 平成14年度学生用図書購入費の追加配分について
2. 附属図書館中期目標・中期計画について
3. 附属図書館利用規程の改正について
4. 重複雑誌の不用決定について

○報告事項

1. 分館ワーキング(第4回)について
2. 平成15年度図書資料(大型コレクション)収書計画の申請について
3. 平成14年度図書館公開講演会及び展示会の実施結果について

4. 情報収集講座及び文献検索ガイダンスの実施について

5. 2次資料データベースの導入について

6. 図書館本館正面玄関の改修について

◆人事異動

平成15年1月1日付<転入・転出>

白石 光雄

(情報サービス課長→東北大学附属図書館情報サービス課長)

大石 博昭

(横浜国立大学附属図書館情報管理課雑誌管理係長→情報サービス課長)

平成15年1月30日付<臨時的任用期間満了>

大村悠紀子(図書情報係)

平成15年1月31日付<職務復帰(育児休業終了)>

村上真佐子(図書情報係)

開館カレンダー(静岡・浜松共通)

2003年 4月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	
	7	8	9	10	11	
	14	15	16	17	18	
	21	22	23	24	25	
	28		30			

5月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	
		6	7	8	9	
	12	13	14	15	16	
	19	20	21	22	23	
	26	27	28	29	30	

6月						
日	月	火	水	木	金	土
①	2	3	4	5	6	
	9	10	11	12	13	
	16	17	18	19	20	
	23	24	25	26	27	
	30					

※6月1日は創立記念日のため休館です。

7月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	
	7	8	9	10	11	
	14	15	16	17	18	
		22	23	24	25	
	28	29	30	31		

8月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	
	4	5	6	7	8	
	11	12	13	14	15	
	18	19	20	21	22	
	25	26	27	28	29	

9月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	
	8	9	10	11	12	
		16	17	18	19	
	22		24	25	26	
	29	30				

□ 開館 平日 9:00~22:00

■ 開館 土・日・祝祭日 9:00~19:00

□ 開館 平日 9:00~17:00(長期休業期間中)

※ 開館日・開館時間は変更されることがあります。臨時に休館する場合は別途お知らせします。

静岡大学附属図書館報「図書館通信」第143号

(平成15年3月28日発行)

発行所 静岡大学附属図書館 〒422-8529 静岡市大谷836 Tel.054-238-4477 Fax.054-238-5408

URL <http://www.lib.shizuoka.ac.jp/home.html>

(再生紙使用)